

教育プログラム・コースの概要

大学名等	大阪医科大学大学院医学科医学専攻						
教育プログラム・コース名	婦人科腫瘍治療におけるゲノム医療従事者養成コース						
対象者	医学専攻博士課程						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	<p>遺伝性乳癌卵巣癌症候群をはじめとする婦人科腫瘍に関するゲノム異常に関連して、診断においての遺伝子検査及び患者本人と病院のカウンセリングを手術療法・抗がん剤治療、放射線治療等における治療法を習得して、個々の患者に適した手術療法を含めた治療ができる人材</p> <p>ゲノム医療に必要な手術療法、抗がん剤治療、放射線治療等を場合により適宜組み合わせた最先端の治療法をマスターし、個々の患者にあった最善の手術治療を含めた集学的治療ができる人材</p> <p>ゲノム医療従事に関連して卵巣機能障害等への理解と知識を持った人材</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	大阪医科大学産婦人科学教室において、婦人科腫瘍に関するゲノム解析及び手術手技などの修得のために研修会の開催や手術手技の標準化を進めながらがん専門医を目指す若手医師のための教育の質向上を目指すこと。多職種からなるカンファス<キャンサーボード>等に参加する中でチーム医療に関する内容について認識し、その場を生かした教育体制で、他の領域含めた治療についても習得することが可能である。						
指導体制	大阪医科大学産婦人科教室において、婦人科腫瘍のゲノム解析の観点からがん治療に関する講義を織り交ぜ、関連する診療科との連携を行い、多職種からなるチーム医療教育を必須とする体制でがんプロ院生の指導体制で指導を行う。がんセンターで研究会カンファレンスが定期的で開催され、がんプロ院生もスタッフとして加わり、連携病院や関連施設からの参加者からの最新情報含めた事例等を習得する体制で指導も行う。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	ゲノム医療の実践に関連してコース修了までのがん治療認定医、婦人科腫瘍専門医取得を目指すことになる。						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	医学専攻博士課程	1	1	1	1	1	5
	計	1	1	1	1	1	5